

そして21日になった。僕は朝おきて、帰りの準備をし、宿を出た。また海岸沿いの道を北に向かった。かなり自転車をこいで伊東についた。ここからはだいたいの往路の道をたどればいいわけだ。そして、熱海をすぎ、また20円の有料道路をこえ、真鶴をこえて、小田原についた。すこし、時間に余裕があるので、僕は、小田原城に行ってみた。僕は、小田原城に入ったのはこれが初めてです。小田原城といったら、けっこう有名なところだから、すごい所だと思っていたら、けっこう、ちっぽけなつまらぬ場所でした。僕は、城内に入り、最上階に上り、展望場所から、四方の風景をながめました。少しは、いい眺めな見られて良かったです。それから僕は、国道一号線まで、平塚に向かい、そこから、国道129号線まで、厚木に向かうために北上しました。哲は力な余っているのか、とにかくスピードを出すので、あ、という向に差がつき、引き離されてしまいました。僕も必死に追いつこうと努力しました。そのうち哲な視界から、きえてしまいました。僕の性格上、あきらめやすい性格なので、哲な視界から消えてしまうと、気力が少し失われ、ゆるりこいでしまいました。(それでも、普段のスピードの力は、確段に速くこいでいました) 哲はたいたい、厚木インターチェンジのすぐ前のあたりで、僕のことを待っていました。この旅行中、たびたび哲に待ってもらって、迷惑をかけたと思っています。そして、再びそこで会い、厚木を目直にしたこの地でしばらく休息をとりました。そして、出発するとき、哲が厚木まで、どっちか速く着つか、競争しようと言うので、競争おこしました。目的集合地は、本厚木駅前の噴水です。二人は厚木に向けて、STARTしました。もちろん哲の方が速い。僕も、これがこの旅の最後だと思い、全速力で足を回し、自転車をこぎました。僕は、このままでは、哲と同じ道を、進んでいけず、まず勝てないと思ひ、哲が途中で、左のまっすぐな道を進んだところ、僕は、右のまっすぐな道を選び進みました。ところが、大木に付いてくる僕は、厚木の地理に、くわしくなく(単独言い分けです)この道が、旧129、つまり一番、相模川に近い道に、出てしまい、とんだ遠回りをしてしまいました。それでも、僕は、最後だといふこともあり、スピードを出し、一生懸命自転車をこぎました。しかし、哲の方が、あんのしう先についていました。また8時なので、僕は、この旅行のことを、いっしょに話し合、たいおたに厚木一番街にある、シャトルに入り、いっしょに話しました。1時間以上話した後、店を出て、まずシャトルの前で、一枚写真を撮り、一番街で写真を撮りました。夜だから、人もあまりいませんでしたが、それでも、通りなげの人から変な目で見られました。その後、再び噴水前に行き、数枚の写真を撮った後、堅い握手を交した後、それぞれ、帰路に向かいました。